

政策研究大学院大学(GRIPS)開発フォーラムセミナーのお知らせ
「政治的ガバナンス、経済改革、援助効果向上:フィリピン・ラモス政権の取組みと課題」

新緑の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、来る2007年6月7日(木)午後2時より、「開発マネジメントと援助－政治的ガバナンス、経済改革、援助効果向上:フィリピン・ラモス政権の取組みと課題」と題してセミナーを開催したく、ご案内申し上げます。

GRIPS 開発フォーラムでは2005年7月より、「開発プロセス管理と援助」調査に取り組んできました。東アジアの開発経験を途上国の視点から分析し、アフリカ等他地域の開発・援助マネジメント能力の強化策について具体的な提案・示唆を導くことを目的としています。(本調査の概要および報告書はこちらをご覧ください。<http://www.grips.ac.jp/forum/aidmgt/index.htm>)

本セミナーは、同研究プロセスの一環として開催するもので、フィリピン大学の Dante Bondoc Canlas 教授をゲストスピーカーに迎えて、フィリピンの開発行政制度強化の取組みについて講演を予定しています。Canlas 氏は、ラモス政権下で NEDA (フィリピン国家経済開発庁) の副長官、アロヨ政権下で同庁長官を務め、同国の経済改革や援助マネジメント等、開発行政制度改革の中核に携わってきました。今般、同氏の経験・知見を活用し、ラモス政権下での政策運営を通じた実際の経験について、政治的文脈も踏まえつつ紹介頂くと共に、他の東アジアの途上国およびアフリカの取組みへの課題等について議論を行うことを目的としています。参加者の方々の知見を共有していただき、活発な議論ができれば幸いです。

ご出席いただける場合は、お手数ですが**6月3日(日)**までに、①お名前(ふりがな)、②所属先、③役職名、④メールアドレス、⑤電話番号を添えて茶木(chaki@grips.ac.jp、03-6439-6337)までお申し込み下さい。(※必ず事前申し込みをお願い致します。)皆様のご参加をお待ちしております。なお、参加のお申し込みをもって受付といたします。セミナー当日は会場受付にて、お名前の確認をさせていただきます。(会場の都合上、収容人数を超えた場合のみご連絡いたしますのであしからずご了承ください)。

記

- 日時: 2007年6月7日(木)14:00-16:00
- タイトル:
 - <英題> Political Governance, Economic Policy Reforms, and Aid Effectiveness – The Case of the Philippines: Lessons from the Ramos Administration
 - <和題> 開発マネジメントと援助－政治的ガバナンス、経済改革、援助効果向上:フィリピン・ラモス政権の取組みと課題
- スピーカー:
 - Dr. Dante Bondoc Canlas
 - 現在、フィリピン大学 School of Economics 教授/フィリピン国家経済開発庁(NEDA)長官(2001-2002)、同副長官(1992-1998)、ADB 理事(2003-2004)
- 場所: GRIPS 六本木校舎 4階 4A 研究室
- 言語: 英語(通訳なし)

【プログラム】

- 14:00-14:10 セミナー趣旨説明および冒頭紹介(大野泉)
- 14:10-14:50 Dante Bondoc Canlas 氏講演
- 14:50-15:00 GRIPS よりのコメント(島村真澄)
- 15:00-15:50 自由討論および質疑応答(進行:島村真澄)
- 15:50-16:00 ラップアップ

以上